

**川崎市議会** 2022年(令和4年) 第3回定例会 (6月議会)一般質問



山田議員は、6月28日に開催された市議会定例会の一般質問において「小学校給食調理室の空調設備について」「民生委員児童委員の欠員対策について」「終活支援事業について」「防犯灯ESCO事業について」「特別支援教育の充実について」「郵便等投票について」の6項目を質問しました。

**給食調理室の空調設置を急げ!**

▶山田議員は、暑さ対策として小学校の給食調理室の空調設備について質問。市は、114校中39校に空調を設置、未設置校75校についてはスポットクーラーで対応している。今回の質問で現場からの暑さ対応を求める声も認識したので増設に向け検討すると答えました。  
 ▶山田議員は、夏場の調理室が熱中症の嚴重警戒レベルを超えた危険な状況にあると指摘。北九州市では、未設置校125校に対し2年間で空調設備を導入した事例を紹介、市に早急な対応を求めました。市は、増改築や改修時に設置する。また、他都市の先行事例を参考に可能なものを採用したいと答えました。



空調設備のある39校



スポットクーラー対応の75校

**民生委員等の欠員問題に提言**

**地域の実情に合わせた要件緩和を**

▶山田議員は、民生委員児童委員の欠員問題を取上げ、高齢化の進む市営住宅等の現状に言及、地域の実情に応じて再任手続きの要件緩和を提案しました。市は、今年度の一斉改選時は、変更できないが、改選後において地域の実情を踏まえ年齢要件を含めた欠員対策を検討したいと答えました。



**郵便投票の活用と拡充を**

▶山田議員は、近年の期日前投票が投票全体の3割近くまで推移しているのに対し、郵便投票が低迷していると、対象者のうち最も多い身体障害者の手帳交付時に、郵便投票制度の周知や啓発を行う事を提案。  
 ▶また、これまでの要介護5の方を要介護3までに拡充すべきと提案してきた事について改めて質問しました。  
 ▶市は、郵便等投票制度の周知は極めて重要と提案を含め検討する。また、介護保険における郵便等投票については、国に要望しており、今秋も要望を行う予定と答えました。

**郵便等による不在者投票の対象者**

障害の種類	投票の方法	備考	投票の方法	備考	投票の方法	備考
身体障害	○	手帳の有無にかかわらず投票できる	知的障害	○	手帳の有無にかかわらず投票できる	「特別支援教育」を受けている場合は、投票できない
知的障害	○	手帳の有無にかかわらず投票できる	精神障害	○	手帳の有無にかかわらず投票できる	「特別支援教育」を受けている場合は、投票できない
発達障害	○	手帳の有無にかかわらず投票できる	高齢者	○	投票できる	
高齢者	○	投票できる	その他	○	投票できる	

**郵便等による不在者投票の手続**

郵便等による不在者投票の手続は次のとおりです。「郵便等投票証明書」は、投票の際に必要なもので、必ず手帳に添付する必要があります。

- 1 郵便等投票証明書の交付申請  
投票日に先立って、郵便等による不在者投票を行うことができる選挙人であることを証明する「郵便等投票証明書」の交付を、選挙人も選挙区長の市区町村の選挙管理委員会に申請します。
- 2 投票日  
投票日当日、選挙区長の市区町村の選挙管理委員会に「郵便等投票証明書」を提出し、投票用紙を受け取ります。
- 3 投票日当日  
投票日当日、選挙区長の市区町村の選挙管理委員会に「郵便等投票証明書」を提出し、投票用紙を受け取ります。
- 4 郵便等による投票  
投票日当日、選挙区長の市区町村の選挙管理委員会に「郵便等投票証明書」を提出し、投票用紙を受け取ります。

**特別支援教育の充実を求めて**

**医療的ケア児 切れ目ない支援を**

▶山田議員は、昨年9月、医療的ケア児支援法が施行されたことから就学前の情報と切れ目ない支援の充実について質問。  
 ▶市は、専門相談機関である「医療的ケア児・者等支援拠点」との連携をより一層強化した。また、新たな取り組みとして「川崎市立学校医療的ケア連絡会議」に今年度から医療的ケアに携わる関係局が参加し、就学前から学齢期、卒業後の社会参加を見据えた切れ目ない支援体制を図ってまいりたいと答えました。

**防犯灯ESCO事業を検証**

▶山田議員が平成20年に省エネ型防犯灯として初めて提案したLED防犯灯。また、管理体制の一元化を求めESCO事業を実現してきました。今では、当たり前の事業ですが、効果を検証しました。市は、町会等の電気料金の負担ゼロや労力の大幅軽減、CO2排出量約56%削減、防犯灯の経費も5年間で約4億2千万円削減した。さらに、山田議員の提案の管理システムについては、データの一管理と24時間対応のコールセンターを設置、不具合に対し迅速に対応できる体制を構築したと答えました。



▶商店街の街路灯が、年々撤去されています。原因は、街路灯の維持コストが商店街の大きな負担となっているためです。  
 ▶山田議員は、指摘してきました。「LED化した街路灯を撤去し、新たにLED防犯灯を設置する。何ともったいない事が繰り返されるのか!」と。この4年間だけでも、その費用は、約3千万円にもなります。1日も早く縦割り行政の弊害を改めるべきです!

**終活支援事業を実現**

**今秋10月モデル事業がスタート!**

▶山田議員が具体的に提案してきた終活支援事業が、いよいよ本年10月よりモデル実施されます。市は、委任契約に基づく死後事務や身体の低下時の福祉サービス、見守り支援等を実施してまいります。本事業については有料ですが、一定所得以下の方には、減免等の対応もあります。利用者は、高齢者のほかにも終末期医療を受ける方も対象で、利用される方々が安心して過ごしていただけるよう関係局・機関とも連携し様々な相談対応をしてまいりたいと回答がありました。



**●●晴ればれレポート●●**

**政策懇談会**

▶市議団恒例の政策懇談会が、7月11日から15日までの5日間開催され41団体の方々との意見交換をさせていただきました。その中には、日々新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者である医師会や看護協会、薬剤師会等の方々もご参加いただきました。



4 新型コロナウイルス の4回目接種の 対象者	従来	新たに拡大
	<ul style="list-style-type: none"> <li>60歳以上</li> <li>18~59歳で持病がある人</li> <li>重症化リスクが高いと医師が認める人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療従事者</li> <li>高齢者施設などの職員</li> </ul>

**オミクロン対応今秋にも**

▶新型コロナウイルスの感染拡大が続く現状から、しっかりと対策を講じる事が重要です。若い世代への3回目接種率引き上げ、高齢者や基礎疾患のある人、医療介護従事者等への4回目接種等しっかりと推進してまいります。

**山田はるひこの晴ればれ市民相談 お気軽にご相談ください!**

TEL 044(788)1858 FAX 044(788)2695



山田はるひこ 検索